



第66号  
2017年7月発行

AIRA

ABIKO INTERNATIONAL RELATIONS ASSOCIATION (我孫子市国際交流協会 TEL. 04-7183-1231)

## 並木小学校の異文化交流授業を支援

日時：2017年2月23日（木） 13:00～15:50  
場所：並木小学校 体育館



校舎玄関に入ると、「Hello!」と出迎えの児童の元気な挨拶です。廊下ですれ違う児童からも「Hello!」と英語が飛び交います。

並木小学校での英語を用いた外国人との交流をとおした異文化交流授業に、毎年AIRAからGuestsとして外国出身者を派遣しています。2016年度で5年目になります。今回は、5年生約70人の授業に、Guests 9名の協力を得て行いました。

会場の体育館では、まず、Guestsの方々の自己紹介です。出身国は、中国・インド・ブラジル・フランス・フィリピン・トンガ・アメリカで、夫々の方が地図に場所を示しながら自己紹介をしました。

授業内容は、ウォームアップゲームの「Passport Game」と「Let's Talk in English」です。「Passport Game」は、体育館内にいる人を誰でも相手として見つけて、英語で自己紹介や質問し合い、「Passport」の紙にサインをもらうゲームです。校長先生やAIRAスタッフも中に入

りました。10分ほどの時間ですが8人の人からサインをもらった児童がいました。

「Let's Talk in English」は、児童を8グループに分け、Guestsと英語により質問と会話をします。これを4回入れ替わり繰り返します。会話の内容は「好きな食べ物・ゲーム・音楽・歌手・場所」など多岐にわたっていました。

児童の質問には、「真田丸」「ピコ太郎」「ゲーム機」など最近流行の内容もありました。Guestsの方の答にもポピュラーな「渋谷」「焼肉・ラーメン」などに加え、「君の名は」「檜山節考」の映画の名前に加え、「行田の城が好き」「趣味はアート」など児童が目を“シロクロ”する場面もありました。

終わりの会では、児童たちが「生きているってすばらしい」の歌を児童の弾くピアノ演奏に合わせて合唱しました。

児童達は積極的に英語で話しかけ、表現しようと努めていました。Guestsの方達は積極的だ、楽しかった、英語が上達している（昨年も来られた方）、などと好評でした。また、校内巡りで、掃除をしている様子や給食の後片付けをしている様子を見たGuestsの方は、自国にはないと驚かれていました。Guestsの方々が日本の教育システムを理解する機会にもなった様です。



# 2017年度総会の開催

日 時：2017年4月28日（金）13：00～15：00

場 所：あびこ市民プラザ 多目的ホール



2017年度我孫子市国際交流協会の総会が32名の参加者の下に開催されました。

司会進行は、総務部会長の足達法子さんです。先ずポーランド出身で日本語教室の生徒である田中ジョアンナさんによる開会の

の言葉で、総会は始まりました。

佐藤英明会長は挨拶で、「我孫子市で策定した『第三次国際化推進基本方針』で示されている2020年東京オリンピックや在住外国人等への取組みに、AIRAも貢献していきたい」と、昨年25周年を迎えたAIRAの活動を更に継続する旨話されました。



続く青木章我孫子市副市長（名誉会長・市長の代理）は、挨拶で「今年我孫子市が定めた『第三次国際化推進基本方針』の推進や、2020年東京オリンピックでのキャンプ地として我孫子市を訪れる外国人に対して、通訳などにAIRAの協力は不可欠です」と協力要請がありました。

また、坂巻宗男我孫子市議会議長（顧問）は挨拶で、ご自身の体験から、「国際交流には、新しい文化や平和に寄与すること等いろいろな可能性を秘めた力がある。」と、AIRAが積み重ねた活動の更なる活躍を望みました。



議事は、佐藤議長の進行で進みました。

1. 第1号議案「2016年度事業報告について」（報告者：北嶋扶美子副会長）、第2号議案「2016年度収支決算について」（報告者：依田勇会計）それぞれ説明がありました。また、幕内誠監事から監査結果として適正であった旨報告されました。

第1号議案及び第2号議案は、一括審議の結果出席者の賛成を得て承認されました。

2. 第3号議案「理事・監事・役員について」、佐藤議長から新任理事5名の紹介がありました。この交替は選出団体の人事異動に伴うものです。出席者により承認されました。

3. 第4号議案「2017年度事業計画（案）について」、全体事業については村越孝一副会長から、部会事業については、各部会長からそれぞれ説明がありました。



事業計画は、あびこ国際交流まつり、国際交流スピーチ大会、外国人のための文化講座、学校派遣事業を始め、国際交流バスツアー、ホームステイの受入れ、外国語講座の開講、日本語教室・イブニングクラス開講、翻訳・通訳サービスなど、ほぼ前年度と同じです。研修部会で昨年実施した「日本語の教え方講座」は隔年実施のため、今年度は開講しません。

4. 第5号議案「2017年度事業予算（案）について」、依田勇会計から説明がありました。



収入は、対前年度比約156万円減の16,962,177円です。これは、近年の会員数の減少（2010年度末→2016年度末 △16%）に加え、外国語講座受講生の減少により受講料収入が減少傾向にあることによります。

支出は、ホームページの改修の終了等による支出減がありますが、収入減に見合うよう、外国語講座などでの事業見直しを行い、支出の圧縮に努めることで策定されています。

事業収入の減は、AIRAの事業運営を厳しくすることから、会員の増加策とともに、事業収入の増加策を検討し推し進める必要があります。

なお、事業実態の明確化を図るため、消費税・源泉税等の未払い金は、新たに「未払金」の科目を設け移しました。

第4号議案及び第5号議案について審議に入りました。会場から、会員数の減少に対し小中学生を含めた加入対策等についての質問がありました。これに対し、子ども向け施策の検討など会員増加策を引き続き検討する旨答弁がありました。

第4号議案及び第5号議案は、一括採決の結果、出席者の賛成を得て承認されました。

5. 報告事項として、新たに椎名幸雄氏（我孫子市議会総務企画常任委員長）が顧問に就任されたことが報告され紹介されました。



提案された議案は全て終了し、田中ジョアンナさんの閉会の言葉で、総会は閉会しました。



## 会員交流パーティ

総会終了後、同所にて会員交流パーティが開かれました。

別府研修部会長の司会により、村越副会長の乾杯で、スクリーンにAIRAの一年間の活動のスライドを背景にパーティは始まりました。椎名幸雄顧問や北條政利理事の挨拶もあり、会員間で楽しいひと時を過ごしました。佐藤会長の閉会の言葉でパーティは終了しました。



### 理事・監事・役員

役職	氏名		
理事	青木 章	菅野 哲哉	*福岡 正幸
	足達 法子	*高木 宏樹	藤澤 進
	井手口 赳	*田中 聡	艦 康彦
	北嶋扶美子	土井 紀弘	別府宏一郎
	*木下登志子	豊岡 誠司	北條 政利
	倉部 俊治	長島一比古	村越 孝一
	*小椿 清隆	中島 優太	湯沢 秀昭
	坂詰 宮子	中村 孝行	依田 勇
	佐藤 英明	野口 昇	
	柴田 保子	早坂 満	
監事	米田 友義	幕内 誠	

\*印は新理事・監事  
任期：2017年総会～2018年総会（50音順・敬称略）

役職	氏名		
役員	会長	佐藤 英明	
	副会長	北嶋扶美子	村越 孝一
	総務部会長	足達 法子	
	広報部会長	中村 孝行	
	交流部会長	早坂 満	
	研修部会長	別府宏一郎	
	ボランティア部会長	艦 康彦	
会計	井手口 赳	依田 勇	

## ●●●イベントを振り返って●●●

### スペイン語サロン新年会 ポットラックパーティー

日時：2017年1月28日（土） 15:00～17:00  
場所：あびこ市民プラザ 会議室1  
参加者：エナ・サノ先生、受講生7名（計8名）

会場には、エルサルバドル出身のエナ・サノ先生の手作りの「ププサ pupusa」、スペインオムレツ、ドバイ産のチョコとカリフォルニアワイン等を持ち寄り



ました。バックにはポルトガル生まれの民族歌謡「ファド fado」の音楽が心地よく流れ、歓談に花を咲かせていました。

### 日本語教室・火曜日クラス合同学習会 「こわい地震が来た時、困らないために」

日時：2017年3月8日  
10:00～11:30

場所：アビスタミニホール  
参加者：受講生17名、ボランティア講師19名、託児ボランティア4名、学習係5名（計45名）



地震の経験のない外国出身の受講生には、発生

時の対応に不安があります。プロジェクターや投影機を用いて写真や図を写したり、地震の映像を見て、実際さながらの体験をしたような学習をしました。

### 「台湾の家庭料理」 （外国人のための文化講座）

日時：2017年5月25日（木） 10:00～12:30

場所：アビスタ 調理室

指導：柯 美玲（かみれい）さん（AIRA会員）

参加者：18名（男性6、女性12）、スタッフ5名（計23名）

柯さんは来日25年、達者な日本語で話されました。材料表はあるが作り方のレシピはありません。「今日の焼きそばは、母から教わったもので、他のものとは違うかもしれません。私が作るのを見て、試食して味わってから作ってください」と焼きそばづくりから始まりました。



# 22年目の『留学生が先生!』プログラム』支援活動に参加

研修部会 荒井むつみ

フルーツ寿司の紹介(タイスさん)



AIRA 研修部会の文化委員会では、異文化理解講座の開催とともに、「留学生が先生!」プログラムの支援活動を行っています。

市内の小学校で行われている「留学生が先生!」という授業をご存知でしょうか。お子さんやお孫さんが受けた、あるいはご自分が授業を受けて“知ってるよ”という方もいらっしゃるかもしれません。

これは(公財)国際理解支援協会から派遣された外国人留学生の講師に、それぞれの母国のことや自分の夢などを語ってもらい、異文化理解を進めるという授業です。

2016年度はインフルエンザによる学級閉鎖のため中止となった1校を除く市内12の小学校に、アメリカ合衆国・アルジェリア・ウクライナ・韓国・キルギス・スリランカ・中国・ネパール・ブラジル・メキシコ・ロシアの11か国、延べ37人の留学生が派遣され、それぞれの小学校で楽しい授業が行われました。

では、どのような授業が行われているのでしょうか? 留学生講師は、母国の自然、食べ物、学校生活などについて、写真や図面を用い、時には母国語を交えて日本語で紹介しますのでとても分かりやすいです。民族衣装を子どもたちに着せたり、遊びを教えたりもします。民族音楽を聞かせてくれたり、民族舞踊を披露してくれる留学生もいます。日本の大学、大学院で音楽

を専攻している留学生の母国の楽器の演奏などは、楽器自体が珍しいものもあり、なかなか聞くことができないのではないかと思います。

ブラジルからの留学生の授業は、ブラジルに関するたくさんの質問を出し、子どもたちをどんどん当てて名前を聞きその場でニックネームを付け、答えさせるというもので、大笑いしているうちに多くのことを知ることができるものでした。

また、留学生によっては、自分の住んだことのある国の食器を見せ、それぞれの違い、同じところを考えさせ、どこの国のものもそれぞれいいところがあるというように、母国のことだけにとどまらず、世界そのものに目を向けさせる授業もありました。

留学生の皆さんは授業がとても上手です。授業では、必ず留学しようと思った理由や将来の夢について話し



手拍子のコーリンさん

てくれます。学校に通うことが大変な子どもたちがいることや、或いは授業以外の時間でも、学校で何時間も勉強することがあることなど、子どもたちがこれらの事に驚きを感じながら、外国を理解したり、これからの自分の生き方を考えるきっかけの一つにもなっているのではないのでしょうか。

AIRAはこのプログラムに1994年(平成6年)から関わり、2000年(平成12年度)から我孫子市教育委員会の事業として実施されていますが、引き続き支援をしています。AIRAは、主に留学生講師を市内の学校と最寄り駅間との送迎をサポートしています。車で送迎をし、授業を受けるのはなかなか面白いものです。送迎の車中で「水も滴るいい男ってどういう意味?」と尋ねられたこともありました。また、授業内容はまさに異文化理解講座そのもので、聞いていて世界が広がります。そして、授業を受けるたびに私は、日本についてこんなに上手に説明できるだろうかと思います。この送迎ボランティアは随時募集しています。興味がある方はぜひお声かけください。



中国の学校を紹介(関さん)

# ソウル紀行－韓国語教室の仲間とともに

韓国語初級 金芝男クラス 松雪 方雄

守門將交代式



AIRA 韓国語教室の受講生仲間とソウルに旅をした。仲間たちはそれぞれに韓国旅行経験有りだが、私は業務出張一度経験のみで少々不安であったが、この旅には講師の金芝男先生にご同行いただいたので、不安は解消、愉快適悦の旅になったことは言うまでもない。

韓国には多くの方が訪問されており、目新しいこともないと思うが、私なりに訪れた場所の感想を記す。朝鮮王朝時代の王宮『景福宮（キョンボックン）』では、興禮門前で王宮の警護を担っていた「守門軍（スミングン）」の交代の様子を再現した、守門將交代儀式を見ることができた。イギリスの近衛兵交代儀式に肩を並べると評する向きもあるほど華やかさの中に、格調のある伝統的イベントを見せて貰った。

景福宮の北側には、青瓦台（せいがいだい：大統領府）があり、英語名では、ホワイトハウスのように、ブルーハウスと呼ばれているが、遠くから見学するだけであった。ガイド誌などによると、予約すれば見学もできるそうで、次の機会には是非訪問してみたいものだ。2008年2月の放火により焼失した『崇禮門（スンネムン）』（通称：南大門）は韓国の国宝第1号に指定されているようで、2013年5月に工事完了した復元模様を見る機会があった。石造の門を除く、焼失の木造楼閣が復元されたのだが、どこか現代風の装いを感じたのは、日本のお城の復元後を見すぎているせいだろ

興礼門を背に



うか。他にいくつかの観光地（南大門市場、仁寺洞、明洞、ソウル歴史博物館 etc）を訪問したが、伝統的な建築物は、一度や二度の見学で評することはできないというのが正直な感想である。

食事

この旅における、私の個人的目標は、韓国の文化に触れ、韓国語の勉強の継続の意思を強くすることにあった。その意味で、旅行中の食事は大いに役に立ったと思う。「国を知るなら食事



から」、「食を通じた文化交流」などと言うが、ソウル滞在中の全ての食事（朝、昼、夜）は金先生のご案内で、街中の食堂で諸々な韓国料理を味わった。どれもこれも美味しかった。食事の友の韓国焼酎や伝統酒マッコリなど日頃口にしないお酒も韓国料理は勿論、自分自身にも良く合うことを再発見した。

帰国後、日常の食事で習慣化したことがある。キムチを食べることである。以前はキムチを食べることが余りなかった。韓国人が毎食キムチを食する理由をWEBで知った。諸々な説がある様だが、とにかく、韓国では毎食、食べるとのこと。「免疫力を高める」、「疲労回復効果」、「便秘解消効果」などの効果があるようだ。真実のほどはともかくとして、美味しいものは美味しい。

地下鉄

ソウル市内各所への足の殆どは地下鉄を利用した。ソウル市内の地下鉄網は実に充実し、整備されているというのが感想である。とりわけホームドアは強く印象に残った。即ち、高さが天井までであるのだ。列車風や騒音を遮ることができ、電車待ちの環境として良い感じであった。



地下鉄自動券売機

できることなら、また、一緒に韓国語を学んでいる仲間たちと旅行したい。そして、韓国の良さ、文化を少しでも吸収したい。

# 「外国人のための文化講座」では・・・

文化講座担当 松木とし子



AIRAの「外国人のための文化講座」をご存知ですか。在住外国人の方々に日本の文化や伝統・習慣を体験していただき、日常生活に役立ててもらうための講座です。近年は料理講座やバスツアーが恒例行事となり、その

が、一生懸命料理を説明する彼女の隣に立たれていました。どこの国でも母の気持ちは同じですね。料理講座には男性の参加者もいらっしゃいますので歓迎します。

## 【バスツアー】

施設見学の目的で近隣に出かけるバスツアーも人気の行事です。ここ数年の行き先は、国会議事堂・浅草、カガミクリスタル工場・JAXA・牛久大仏、都庁・谷中、川越の街、納豆工場・石岡フラワーパーク、笠間稲荷神社・春風萬里荘、房総のむら・成田山。

浴衣姿 他に生け花・交流サロン・浴衣の着付けなどを含めて年間3～4回の講座を開講しています。

## 【料理講座】

2017年5月25日、「台湾の家庭料理の紹介」を台湾出身の柯美玲 ke mei ling さんが行いました。身近な食材を利用して、台湾料理を紹介したり作ったりして食をとおした異文化体験をしました。

料理講座は女性の方に人気で、毎回AIRA会員の在住外国人の方から出身国の家庭料理を紹介していただいています。今まで、タイ・ネパール・インドネシア・フィリピン・台湾等々の紹介をしてきました。料理を学びながらそのお国の文化や習慣をお聞きできるのも魅力です。

こんな事もありました。珍しいセネガルの料理を教わった時のこと。当時留学生だったムバイ・アミナタさんが、いろいろな物を持ち込んでお国を紹介してくださいました時、セネガルのダンスまで披露してください、参加者全員で楽しんだものでした。

また、韓国の家庭料理でチャプチェやチヂミを日本語教室生徒の権 恵辰（クオン・ヘジン）さんに教わった時のこと。何と、娘の事が心配で前日来日されたというお母さん



クオンさんとお母さん



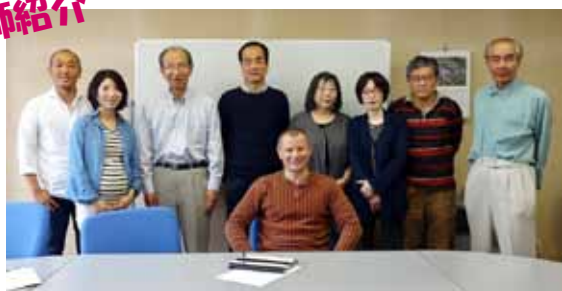
笠間稲荷神社前

最近は茨城方面が続いています。毎年どこに行くかがスタッフの悩みどころ。日本の文化に触れ、楽しく見学でき、そして美味しいランチも・・・です。30数名と一緒に地元の食を味わえるようなお店選びがなかなか大変。今までの例では、研究所内の食堂、都心の展望レストラン、地元野菜のイタリアン、素敵で陶器での創作料理、ショッピングモール内でのバイキング・・・など。それぞれの土地でのランチ場所に巡り合い、「美味しかった」と言ってもらえた時は喜びです。

これらの「外国人のための文化講座」を企画・担当するスタッフを募集しています。

また、「外国人のための文化講座」の参加者は日本人の方が多いたが実情です。ご縁のある外国の方への声かけも、よろしくお願ひします。

## 講師紹介



Daniel Edwin Lee

(英会話上級クラス担当)

2016年9月から担当しています

Welcome everybody! My name is Daniel Edwin Lee, but please call me Dan.

I'm from Somerset in England but for the last sixteen years I've been living and working in and around Shinmatsudo. A few years ago I bought a house in Shinmatsudo so I hope that I'll stay here forever.

In my free time I enjoy running and going to the gym and cooking. And, of course, I enjoy studying Japanese. My dream is to one day pass the 日本語能力試験 1級 but that is a very difficult test! But I will do my best.

I hope in the future that I will be able to meet many more of you.

Dan

日本語は右ページに

# 第三次国際化推進基本方針を策定しました！

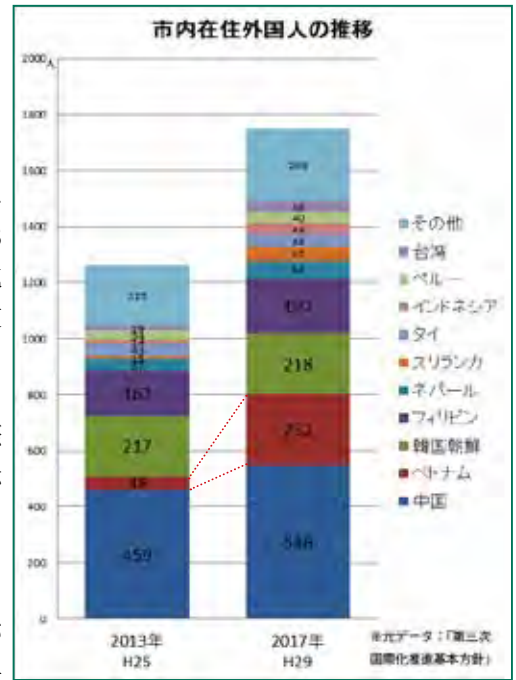
我孫子市企画財政部企画課

我孫子市は、平成4年に「国際化推進基本方針」を策定し、市内3つの国際交流団体と一体となって、我孫子市国際交流協会「AIRA」を設立しました。以来、AIRAとともに、地域の国際化に取り組んできました。

この間、人や物、資金、情報などあらゆる面で海外との往来が拡大するとともに、インターネットやSNSなどを通じて、気軽に外国人と交流できる環境となっています。また、2020年には東京で、オリンピック・パラリンピックが開催されることから、国際交流の機

会は、今後、より一層増えるの見込まれています。

在住外国人のくらしを見てみると、2006年3月に、国で「地域における多文化共生推進プラン」が策定され、新たな国際化のあり方が示されました。また、制度面では、2012年7月に外国人登録法が廃止され、住民



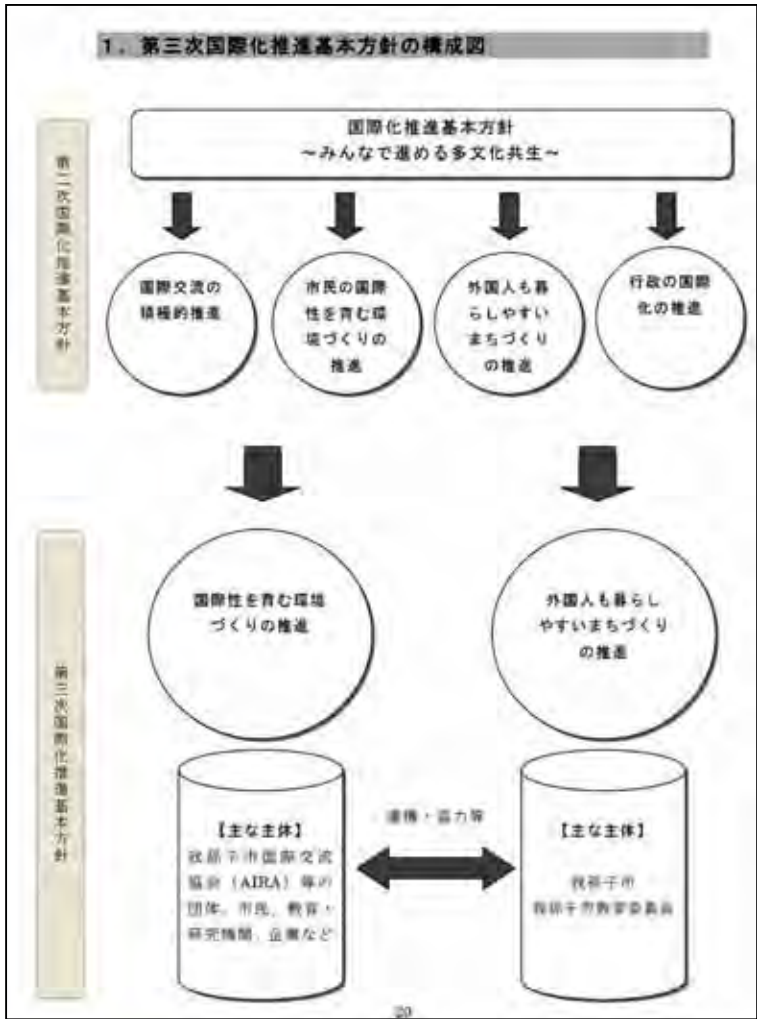
基本台帳法の適用対象に加わるという、大きな変化がありました。これは、在住外国人が年々増加していること等を背景に、市町村が、在住外国人に対して日本人と同様に基礎的行政サービスを提供する必要性が高まったためです。

市内にくらす外国人も年々増加傾向にあります。AIRAが設立される前の1990年には275人でしたが、今年5月には1,812人と約6.5倍となっています。これに伴って、生活習慣や言葉の違いから発生するトラブルを防ぐための取り組みや、災害時のやさしい日本語を含む多言語対応など、より生活に密着した取り組みが求められています。

こうした環境の変化を踏まえ、今年4月に、第三次となる国際化推進基本方針を策定し、「外国人も暮らしやすいまちづくりの推進」「国際性を育む環境づくりの推進」という大きな2つの方針を掲げて、施策に取り組んでいくこととしました。

策定にあたっては、「外国人のための日本語講座」のボランティアの皆さんにもご協力いただき、外国人受講生へのアンケートを実施しました。また、市役所の関係課による意見交換も行い、国際化の現状や課題を整理し、市が引き続き取り組むべきもの、民間主体で実施した方が効果的なもの、市と民間が連携して取り組んでいくものに分け、具体的な取り組み事例を示す工夫をしました。

本市の国際化推進は、AIRAの皆さんの地道な取り組みに支えられてきました。今後も、市内にくらす外国人へのサポート、また、市民の皆さんへの国際交流機会の提供など、引き続き、様々な形でお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。



図版は「第三次国際化推進基本方針」より



皆さん こんにちは！

私の名前はリー・ダニエル・エドウィンですが、ダンと呼んでください。

私はイギリスのサマーセット郡ウエルズ市出身です。日本に来て16年になりますが、ずっと日本の皆さんに英語を教え、現在は新松戸に住んでいます。又、私は以前から日本の皆さんの英語力向上方法に関心を持ち、自分の研究結果を「無限英語」と云う名前の本にして出版しました。機会があれば読んでください。

数年前に新松戸に自分の家を買いましたので、ここでずっと暮らしたいです。自由時間には外に出て走ったり自転車に乗ったり又、スポーツで運動して楽しんでいます。料理も大好きです。

私の夢はいつか日本語能力試験1級に合格することです。とても難しい試験ですが、合格を目指して頑張ります！

私の夢・希望は、近い初来により多くのAIRA会員皆さんとお会いすることです。とても楽しみにしています。

## ホストファミリー募集

中央学院大学では、毎年交換留学生を受け入れています。今年は下記の交換留学生が日本の家庭でのホームステイを希望しています。下記期間中で受け入れ可能な会員の方は7月25日(金)までにAIRA事務局へご連絡ください。

○車 振鎬 (韓国 京畿大学 日本語日文学科)

★8月末～9/13(水)の期間内で2泊3日★

○王 豆翔 (台湾 淡江大学 日本語学科)

★8/7(月)～8/25(金)の期間内で2泊3日★



車 振鎬さん



王 豆翔さん

## イベントスタッフ募集

AIRAの下記の事業についてスタッフを募集しています。

☆スピーチ大会 開催日 9月24日(日)

☆あびこ国際まつり 開催日 11月26日(日)

(まつり実行委員として参画をお願いします)

## スペイン語サロン開催

スペイン語で身近なニュースについて話し合ったり、後半はコーヒーを飲みながら、おしゃべりを楽しんでいます。

日時：8月19日(日) 15:00から

会場：市民プラザ 会議室1

講師：マイケル・テルセロ氏 (Michael Tercoro)  
エルサルバドル出身

## 翻訳学習会開催

日時：8月26日(土) 10:00～12:00

会場：市民プラザ会議室1

講師：グレッグ・ゲッザン氏 (米国)

## 書損じハガキご協力のお礼

12月～2/28までのキャンペーン期間中に、市内の公共施設の回収箱及び事務局に集まった書損じハガキは、943枚で、45,395円分の切手と交換し、ユネスコの寺子屋活動に送りました。AIRA事務局とインフォメーションセンター(アビシルベ)には常時回収箱を設置しています。引き続きご協力をお願い致します。

## 翻訳・通訳ボランティア募集中

2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、AIRAでは通訳・翻訳ボランティア登録して下さるスタッフを募集しています。外国からのお客様や、外国人の体験入学等の学校での通訳、国際的なイベント時の通訳等があります。英語、中国語、韓国語、スペイン語等、どの言語での登録も結構です。

## イブニングクラスのベトナム料理

日時：7月28日(金) 18:30～20:30

場所：我孫子北近隣センター(並木本館) 調理室

指導：レ タイン フィエン (LE THANH HUYEN ベトナム)

メニュー：①鶏肉のフォー

②青パパイヤのサラダ

③緑豆のぜんざい



## 編集後記

我孫子市の人口が減少している反面、市内在住外国人は増加しています。2020年東京オリンピック開催に向け、ますます国際交流の機会は増えていきます。また、2020年には小学校の英語教育の早期化(小3からの必修化、小5からの教科化)が始まります。今年策定された市の「第三次国際化推進基本方針」では、AIRAが推進のための重要な担い手の一つに位置付けられています。AIRAには、これらの変化に対応した活動の推進が期待されています。

今年の総会では、AIRAの課題の一つが討議されました。それは、AIRAを支える会員数の減少に伴う活動の担い手不足と外国語講座生の減少に伴う運営への影響です。今後対策が検討されます。

今号の記事には、AIRAの活動に携わっている人による活動が紹介されています。また、韓国語講座生がクラス仲間と講師で旅をした「ソウル紀行」が載っています。外国語講座が外国語の学習とともに仲間づくりの契機にもなっていることは、これからが楽しみです。

AIRA設立の原点を踏まえ「めげず、たゆまず、あきらめず」、活動の活性化を目指して……“AIRA is waiting for you”。(孝)



我孫子市国際交流協会 ABIKO INTERNATIONAL RELATIONS ASSOCIATION

〒270-1166 千葉県我孫子市我孫子4-11-1 あびこ市民プラザ内 土・日も開いています(木曜定休)

Tel: 04-7183-1231 Fax: 04-7183-2005 URL: <http://www.e-aira.jp> E-mail: [info@e-aira.jp](mailto:info@e-aira.jp)